

## わが職場

昭和四十九年に入社した三ツ星ベルト株式会社で、平成二十三年九月に無事定年退職を迎えることになりましたが、会社のご配慮もあり、関連会社で引き続き勤務しておりました。

ところが、平成二十四年三月、現勤務先の元事務局長から現勤務先への入社のお誘いを頂戴し人生の岐路に立つことになりました。

元の会社の本社とも相談しましたが、結局は自身で進路を決めることになりました。元事務局長は、元の会社の大先輩であり、元上司であり、折角の有り難いお誘いであり、平成二十四年七月より、現勤務先へ入社する事に決心致しました。従いまして、私のこの会社での職歴は非常に浅く、やっと丸一年を迎えた所です。ましてや元の会社は製造業であり、長年生産工場で勤務してきた私にとりまして、現会社は第三セクターであり、地域に密着した、又地域の活性化の礎となる、市民

に提供する『サービス』は、正直、取っ付き難いものがありました。

仕事の対象が、『物』から『人』へ。

ここには大きな違いがある様ですが、結局は目の前の問題を改善、解決し、将来に向けて会社、及び社員がスパイラルアップして行くという点では何ら違いはない！と考えると、サービス業に対しての違和感も、最近では薄らいで来た感があります。

さて、株式会社さぬき市SA公社は、平成四年に創業を開始した、まだ歴史の浅い会社であり、その名の通り、津田の松原SA（サービスエリア）でのサービス提供が主たる業務であります。平成二十四年四月にさぬき

を以て解散する事になり、その後を受けて当社が吸収する事になったという経緯があります。同じ第三セクターとして、『地域へのサービス提供』と『利益確保』を両立させる難しさを改めて知らされる思いが致します。当社の従業員数は、現在一〇〇名弱であります。が、約六〇%がパート、アルバイトであり、無期雇用化、或いは、正規社員への登用化は、労務管理上の、今後の課題のひとつです。

又、従業員の年齢層も二〇代から七〇代までと、非常にバラエティに富んでおりますが、将来を展望する時には、高齢者の雇用も確保したい、しかしながら若返りも図りたい、というジレンマに陥りますが…。

ワイン株式会社を吸収合併、平成二十四年十月に半年間休館していたツインパルながおを吸収、そして本年四月に、みろく温泉、春日温泉を吸収する事になりました。これら三つの温泉施設は、従前より財団法人さぬき市施設管理公社が運営しておりましたが、残念ながら、本年三月三十一日

従業員の雇用確保、安全・安心な職場作りを念頭に、地域に密着したサービスを提供できる、活気ある、元気な会社を目指して参りますので、会員企業の皆様のご支援、ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

株式会社さぬき市SA公社  
事務局長 露口 明信